

幼稚園利用者を対象とした乳幼児連れの人々の移動の実態とその意識に関する基礎的研究

福岡大学大学院 学生会員 ○岡 泰佑
佐賀県庁 田中 克明
福岡大学工学部 正 会 員 辰巳 浩
福岡大学工学部 正 会 員 堤 香代子

1. はじめに

近年、わが国では少子化問題が深刻化しており、子育て環境の向上が求められている。このことは、交通分野についても例外ではなく、乳幼児連れの人々が快適に移動できる交通環境の創出は重要な課題のひとつといえる。

本テーマに関する既往研究についてみると、その実績は非常に乏しい。また、そのほとんどは、関東・関西の大都市圏を調査対象地域としたものであり、公共交通利用を前提としたものとなっている。

そこで本研究は、こうした大都市圏に比してマイカー依存度が高い地方都市を対象とし、アンケート調査を実施することにより、乳幼児連れの人々の移動実態とその意識を把握することを目的とする。なお、著者らは平成22年11月に保育園利用者(主に仕事を持つ母親)を対象にアンケート調査を実施し、その移動実態と意識について分析した⁸⁾。一方、本稿では幼稚園利用者(主に専業主婦)を調査対象としている。

2. 調査概要

アンケート調査は、福岡市中央区、城南区、早良区の保育園16ヶ所を対象とし、平成23年10月に実施した。調査票の配布・回収は幼稚園の協力により保護者への連絡帳に挟み込むことで行った。配布部数は2,394部であり、回収部数は1,221部、回収率51.0%であった。調査項目は表1に示すとおりである。

表1 アンケート調査項目

個人属性		性別、年齢、就業、住所、子供の人数、最寄り駅の有無、食材の宅配利用状況、自家用車の有無および利用頻度
外出先別の交通状況	買い物に行く場合(平日・休日)	利用スーパー、スーパーまでの距離、スーパーまでの主な交通手段
	レジャーの場合	外出頻度、主な交通手段
	公園へ行く場合(平日・休日)	よく利用する公園、公園までの主な交通手段
	病院行く場合	主な交通手段
	幼稚園の送迎の場合	幼稚園までの距離、幼稚園までの交通手段
運転状況・満足度		運転中気をつけること、スーパーの駐車場利用及び駐車後の利用満足度(平日・休日)、公園の駐車場利用及び駐車後の利用満足度(平日・休日)

3. 調査結果

(1)目的別の交通手段

図1は幼稚園利用者の主な交通手段を示す。買い物および公園に行く際、平日はマイカーの利用割合は低く、休日は平

日と比して同乗する割合が著しく高くなる。また、レジャーの場合も同様にマイカーの利用割合が高く同乗の割合も高いことから、平日は自転車や徒歩を主な交通手段とし、休日に夫と出掛けるケースが多いと考えられる。図2は保育園利用者の交通手段を示す。幼稚園利用者と比較しても、交通手段に大きな差は見られない。また、最寄駅が1km以内にある人の目的別交通手段では、いずれもマイカーの利用割合が高い結果となり、全体を対象としたものと比較しても交通手段の割合に大きな差はみられない。

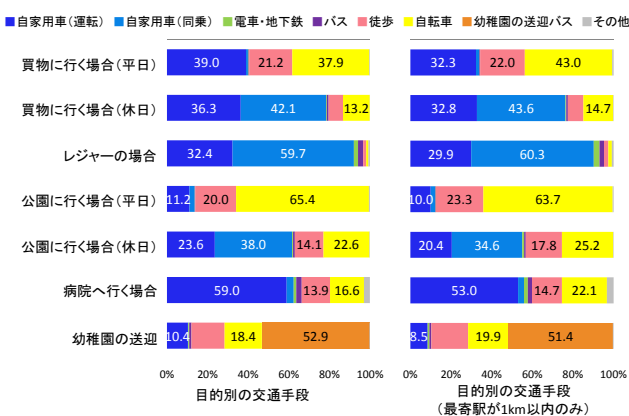


図1 幼稚園利用者の交通手段

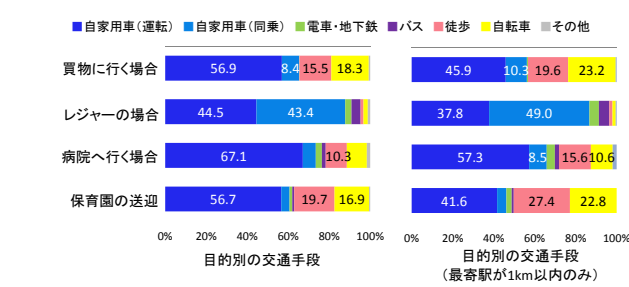


図2 保育園利用者の交通手段

(2)買い物時における駐車場の利用満足度

図3は利用施設別でみたよく利用するスーパーまでの距離を示す。保育園利用者と幼稚園利用者(平日のスーパー利用)は、近場のスーパーで買い物を済ませる傾向にあり、休日では遠出していることがわかる。図4はスーパーを利用する際の駐車時と駐車後の満足度を利用施設別でみたものである。スーパーを利用する際、平日の場合と休日の場合を比較すると、一部を除く大半の休日利用者が満足度の高い結果となった。また、保育園と幼稚園(休日)を比較しても同じ事がいえる。こ

キーワード: 乳幼児連れ, 幼稚園利用者, アンケート調査, 交通行動
連絡先: 〒814-0180 福岡市城南区七隈 8-19-1 TEL:092-871-6631(内線 6483), FAX:092-865-6031

れらは、図3で示した通り休日はより遠くのスーパーを利用して
いることから、満足度の高いスーパーを選んでいると考えられ
る。

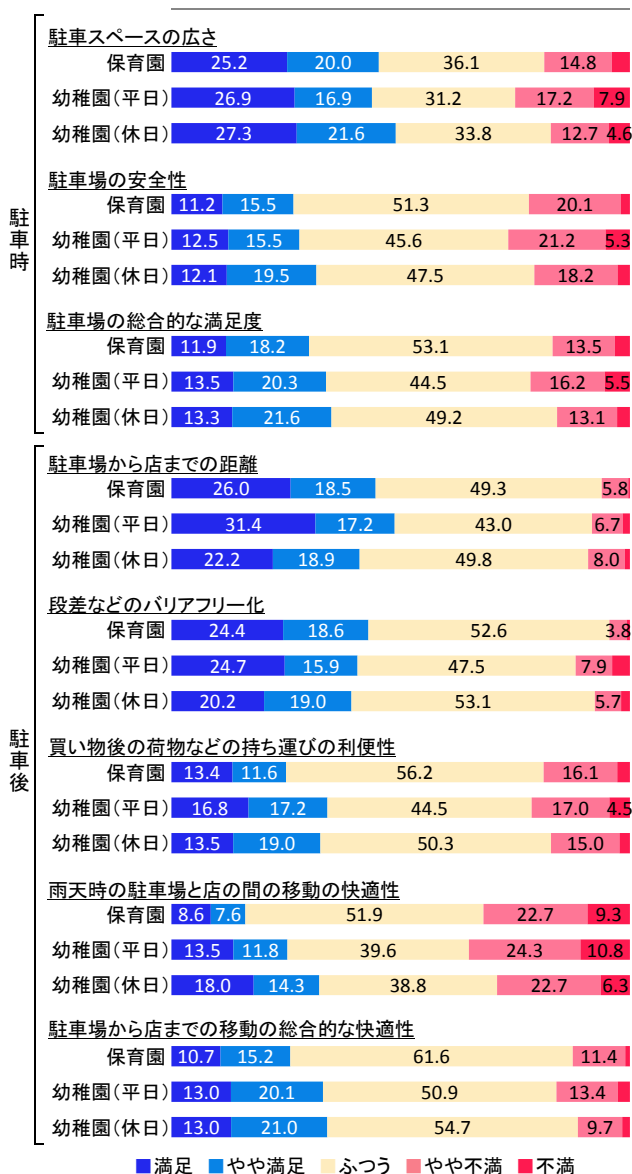
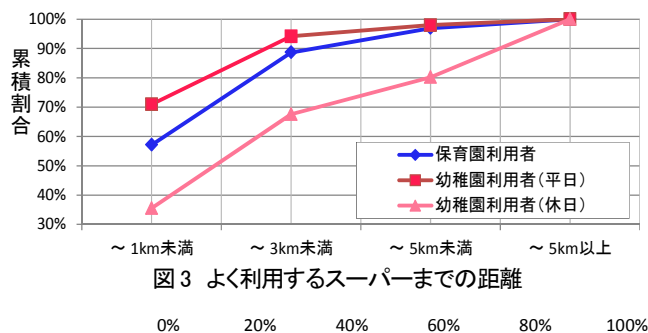


図4 平日・休日によく利用するスーパーの駐車利用満足度

(3)公園へ行く場合の利用満足度

図5は幼稚園利用者を対象に公園の駐車場を利用する際の
駐車時と駐車後の満足度を示す。平日より休日の満足度が高
い結果となったが、駐車スペースの広さに関しては不満度も高
い結果となった。これは休日の公園利用者が多く混雑すること
が原因と考えられる。

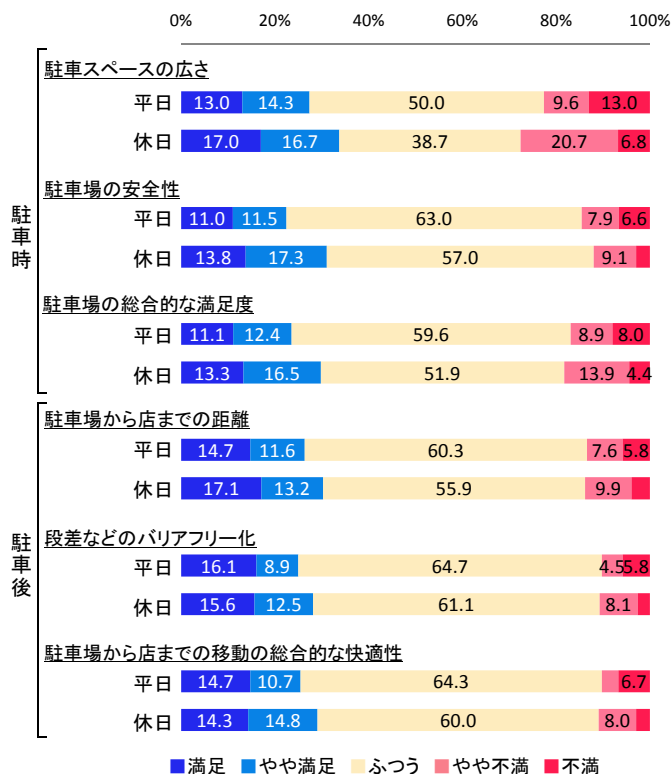


図5 平日・休日によく利用する公園の駐車利用満足度

4. まとめ

本研究では、幼稚園利用者を対象にアンケート調査を実施し、乳幼児連れの移動実態とその意識を把握するとともに、保育園利用者と比較を行った。その結果、マイカー利用割合については、幼稚園利用者と保育園利用者で差はなく、平日においては比較的マイカーの利用割合は低く、主に休日にマイカーを利用していることがわかった。また、最寄駅が自宅近くにあっても自家用車を利用する傾向が強く、公共交通の利用者は少ないことがわかった。

買い物や公園に行く場合の駐車場の満足度は、幼稚園利用者の満足度が低く、休日の駐車利用の満足度が高い結果となったが、公園の場合の駐車スペースの不満足度が高いことから、駐車スペースの広さについて検討の必要があると考えられる。

今後の課題として、乳幼児連れの人々の支援策について具体的に検討することが挙げられる。

参考文献

- 1)小塚勝紀, 新崎淳史, 波床正敏: 子連れ移動者の視点からみた交通バリアフリーの課題抽出, 土木計画学研究講演集 28, 2003
- 2)新福綾乃, 十代田朗, 津々見崇: 乳幼児を伴う外出行動の実態に関する研究 -東京・自由が丘及び代官山におけるケーススタディ-, 都市計画論文集 44-3, 2009
- 3)木村祥法, 石田千早, 波床正敏: 堺市中心市街地周辺の子連れの行動について, 土木学会年次学術講演会講演概要集 61-4, p117, 2006
- 4)大森宣暁, 谷口綾子, 真鍋陸太郎, 寺内義典: 子育て中の母親の外出行動とバリア, 土木計画学研究・講演集 39, 2009
- 5)柳田穰, 谷口綾子, 石田東生: 公共交通機関の子連れ利用における心理的バリアの軽減を目的とした説得的コミュニケーションによる態度変容効果分析, 土木計画学研究・講演集 41, 2010
- 6)波床正敏, 小塚勝紀: バリアフリー施設が子連れトリップの駅選択に与える影響の分析, 土木計画学研究・講演集 31, 2005
- 7)香口恵美, 辰巳浩, 堤香代子: PT調査データを用いた乳幼児を持つ女性の交通行動特性に関する研究, 土木計画学研究・講演集 43, 2011
- 8)岡泰佑, 辰巳浩, 堤香代子: 保育園利用者を対象とした乳幼児連れの人々の移動の現状に関する基礎的研究, 2011年土木学会全国大会第66回年次学術講演会発表